

原爆被害者相談員の会 第34回 12・11基本懇意見書にこだわる被爆者問題講演会

今、自分史を書くということ ～被爆70年をふり返って～

講師：NPO法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 栗原 淑江さん

日時：2014年12月7日（日） 14:30～16:30

場所：中区地域福祉センター 大会議室

広島市中区大手町4-1-1 平和ビル5階

TEL：082-249-3114

資料代：500円

今後、被爆者の自分史『生きる 第5集』刊行に向け取り組んでいきます。
講演終了後、執筆を検討したい方と打ち合わせを行いたいと思います。

原爆被害者相談員の会（代表 三村正弘）

広島県下の病院・施設などで働くソーシャルワーカーが職場の枠を越え、専門ボランティアによる被爆者相談と被爆者を支援していくことを目的に1981年に会を発足。県内外のソーシャルワーカーのみならず被爆者、研究者、被爆者支援に関心のある市民なども加わっている。主な活動は、被爆者総合相談会や原爆被害者証言のつどいの開催、原爆被害者対策基本問題懇談会意見書にこだわる講演会の開催、被爆者の自分史づくりのサポートなど。

〈栗原淑江さんプロフィール〉

1947年 東京生まれ

1968年 一橋大学在学中、社会調査ゼミナールの実習で長崎被爆者の生活史調査に参加。以来46年間、被爆者調査や日本被団協の運動、「自分史」のとりくみなど、被爆者運動に力を注いだ。

1980年4月～1991年6月 日本被団協事務局員

1992年12月～2013年1月 被爆者に「自分史」執筆を呼びかけ「自分史つしん ヒバクシャ」を発行

2011年12月～ 「NPO法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会」事務局員



●問い合わせ 原爆被害者相談員の会●

〒730-0051

広島市中区大手町5-16-18 大手町パルビル4階

(090) 7375-1211